

# 地域が連携し、市民が行動するまち

## 環境教育

今日の環境問題を解決するためには、私たち一人一人が環境への関心と理解を深め、具体的に行動する必要があります。本市では、市民が楽しみながら環境保全活動・学習を行うことができる事業を考え、多くの市民が身近な環境を大切にすることを育み行動することで、自然と環境を配慮する生活へとつながるような社会の実現を目指しています。

### ●環境フェア

本市では、環境保全の普及啓発事業の一環として、市民・事業所・環境保全活動団体・行政が協力し合い、日常の暮らしの中から環境問題を考える「環境フェア 2013～復興！！それは環境とのアソート～」を開催しました。

平成25年度は、11月24日（日）に本庁舎市民サロン及び議場を会場に楽しく学べるイベントを企画しました。

<イベント内容>

- ◆展示コーナー…まちや川をきれいにするポスター展示、リサイクル作品展示など
- ◆体験コーナー…手回し発電機を使った発砲スチロール切り体験、エコ紙芝居、人工イクラ作り、クイズなど

- ◆スタンプラリーなど

☆売上金額の一部は、『地球環境基金』に寄付しました。

【環境フェア2013の様子】



### ●出前講座

総合的な学習として“環境”をテーマに取り組んでいる学校に対し、依頼により実施しました。（平成25年度実績）

- ◆1団体 内容 「石巻の環境について」

### ●環境保全リーダー育成講座

環境について関心のある市民に環境に関する専門知識や技術の習得に役立つ講義を受講してもらい、修了後は学校、町内会、職場、市民グループなどにおいて環境保全リーダーとして活躍してもらうことを目的に「環境保全リーダー育成講座」を実施しています。これまで環境保全リーダーとして215名が登録し、環境保全活動の中心として活躍しています。

平成25年度については、4月16日から9月10日までの5か月間にわたり実施し、修了した15名に、環境保全リーダーのシンボルとなる登録証とバッジを交付しました。

また、各期生間のネットワークづくりを目的としたフォローアップ講座等を開催しています。



第5回講座“野鳥観察”



第8回講座“リサイクル施設見学”

### ●環境教育事業

小・中学生を対象とした「水生生物による水質調査」、中学生を対象とした「酸性雨モニタリング調査」を実施し、環境保全意識の啓発を図っています。

さらに石巻工業高等学校では「光触媒研究」による環境浄化の研究に取り組み、環境意識の高い人材育成を目的とした事業も実施しています。



水生生物による水質調査（真野川）

### ●こどもエコクラブ

こどもエコクラブとは、小・中学生なら誰でも参加できる環境活動のクラブで、財団法人日本環境協会が支援しています。

平成25年度は、全国で2,020クラブ・10万1,572人の小・中学生が登録し、活動しました。

石巻市内では12クラブが登録し、うち8クラブが各地区放課後児童クラブに加入していて、メンバー348名、サポーター43名が自主的に活動しています。

## 環境保全 活動

今日の環境問題である都市・生活型公害や、地球環境問題の発生要因の多くは、私たちの日常の生活や事業活動と深く関わっています。

このような環境問題の根本的解決を図っていくためには、日常生活活動や事業活動において環境に配慮した行動への取組が重要です。石巻市環境基本計画では、市民が日常の生活を送るうえで可能な限り環境への負荷の少ない行動を実践するための参考として、以下のような環境配慮行動を提示しています。

計画編の構成区分		環境保全行動指針
広域的、地球的な視点に立った健全なまち	大気環境	・家庭における悪臭の発生防止に努める。
	水質	・家庭からの生活雑排水の抑制に努める。 ・汚水排水処理施設などの整備と適正管理に努める。
	騒音・振動	・自動車やオートバイからの騒音防止に努める。 ・家庭における騒音・振動の防止に努める。
	その他の生活環境	・雨水の地下への浸透に配慮した庭の管理に努める。
	地球温暖化対策	・日常生活における電気の節約に努める。 ・日常生活におけるガス・灯油などの節約に努める。 ・低公害車等の環境に負荷の少ない車の利用に努める。 ・環境に配慮した運転（エコドライブ）などの実践に努める。 ・自動車の使用をできるだけ控えるように努める。 ・家の周りの緑化に努める。
自然と共生するまち	自然環境	・自然とのふれあいに努める。 ・自然環境を守るためのマナーの徹底に努める。 ・里山などの緑化に対する協力に努める。
	都市環境	・周辺の自然環境や景観などに配慮した建築に努める。
	歴史的・文化的環境	・地域の歴史・文化遺産の保全と継承に努める。
資源が循環し、環境への負荷が少ないまち	廃棄物	・ unnecessary 買い物はしないよう努める。 ・ごみの排出が少ない買い物に努める。 ・日常生活におけるごみの減量化に努める。 ・リサイクルに協力する。 ・家庭ごみの適正な処理に努める。
	水資源	・日常生活における水の節約に努める。 ・日常生活における水の有効利用に努める。
	地産地消	・省エネルギー型や自然エネルギー型の住宅づくりに努める。
地域が連携し、市民が行動するまち	環境教育	・環境に関する情報を収集し、自己学習に努める。 ・環境学習の場への積極的な参加に努める。
	環境保全活動	・ポイ捨て防止などマナーを守り、街の美化に努める。 ・日常でできる環境保全活動の実践に努める。 ・地域や国際的な環境保全活動への参加・協力を努める。 ・リサイクル製品や省エネ製品など環境にやさしい製品の購入に努める。

## ■環境美化

大きな規模での地球環境の保全と同じように、身近な「私たちの住むまち」に対する生活環境の保全は大切です。町内会や行政区、小中学校などの各種団体により構成される石巻市環境美化推進協議会が主体となって環境美化運動を行い、清潔で緑豊かな美しいまちづくりを目指しています。

### ●ごみを捨てない運動

道などに散乱するごみ、ポイ捨てされたごみは、まちの美観を損ねるばかりでなく市のイメージダウンにもつながりかねません。ごみのポイ捨て禁止やごみの持ち帰り運動を進めることが、市民一人一人の環境に対するマナーやモラルの向上につながります。

環境美化推進協議会では、2年ごとに市内3地区を環境美化モデル地区に指定し、「ポイ捨て禁止キャンペーン」として、ポイ捨て禁止を呼び掛ける運動等を実施しています。

また、次代を担う市内小中学生の児童・生徒に、環境省等が主催する3R促進ポスターコンクールへの参加を呼び掛けたり、まちや川をきれいにする作文・ポスターコンクールを実施するなど、環境美化意識の高揚を図るための活動をしています。



まち川作文・ポスターコンクール  
石巻市長賞入選作品



まち川作文・ポスターコンクール  
石巻市長賞入選作品

### ●清掃奉仕活動

地域の環境は地域で守ることを目標に、地域の様々な団体が地域の清掃活動を実施しています。平成25年度は157団体（延べ419団体）が実施し、参加人数は延べ3万1千人を超えています。実施団体は地域のコミュニティ団体のほかにも、同じ場所を利用する仲間の団体として、釣り愛好者団体等が海岸を清掃する活動なども見られるようになりました。

本市ではそれらの活動に対し、ごみ袋の配布等を行っています。

## ●花いっぱい運動

地域の環境美化運動の一環とし、花があふれる潤いのある町づくりを推進するため、町内会等の地域団体に花の苗木を配布し植栽しています。平成25年度は107団体に、サルビア、マリーゴールド、ペコニアの3種類の苗木31,722本の配布を行いました。

花の苗木は6月ごろ各地区に配布され、地域の皆さんによって、沿道や各施設等の花壇に植栽され、環境美化の推進及び環境美化意識の高揚が図られています。